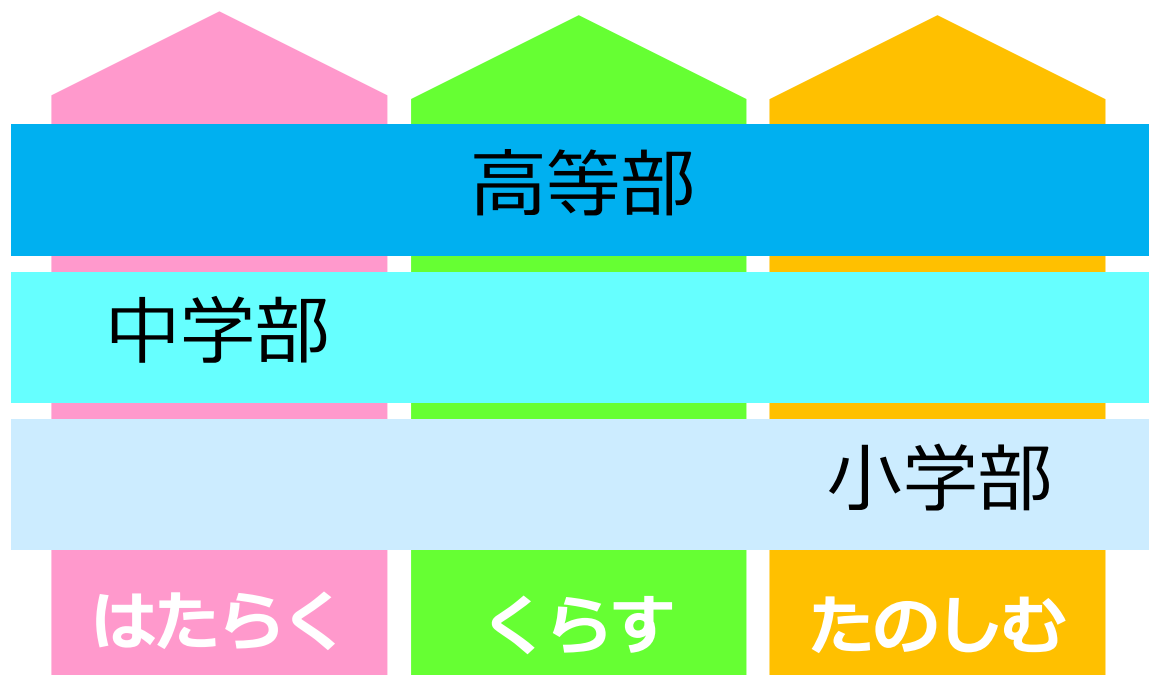
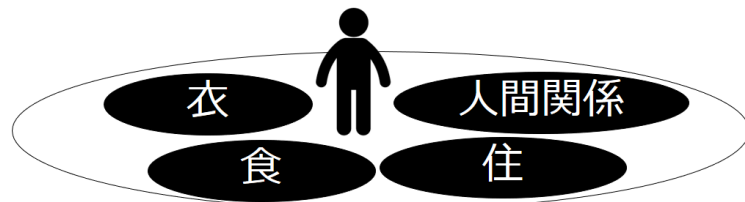
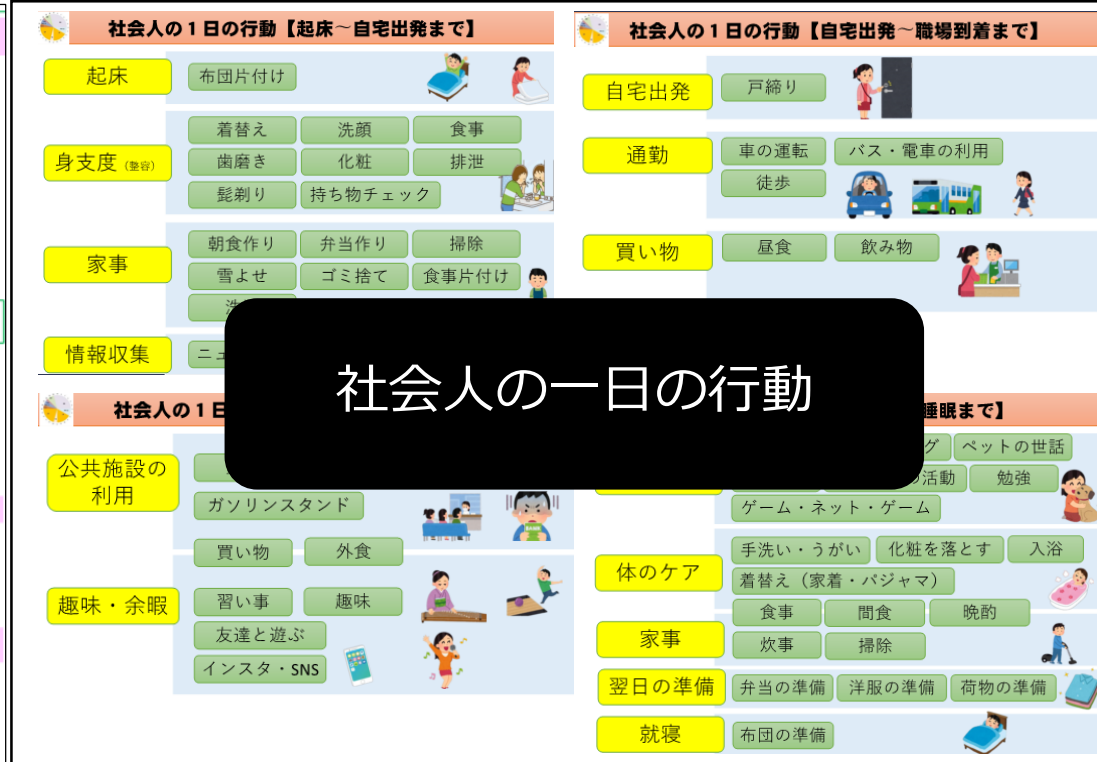
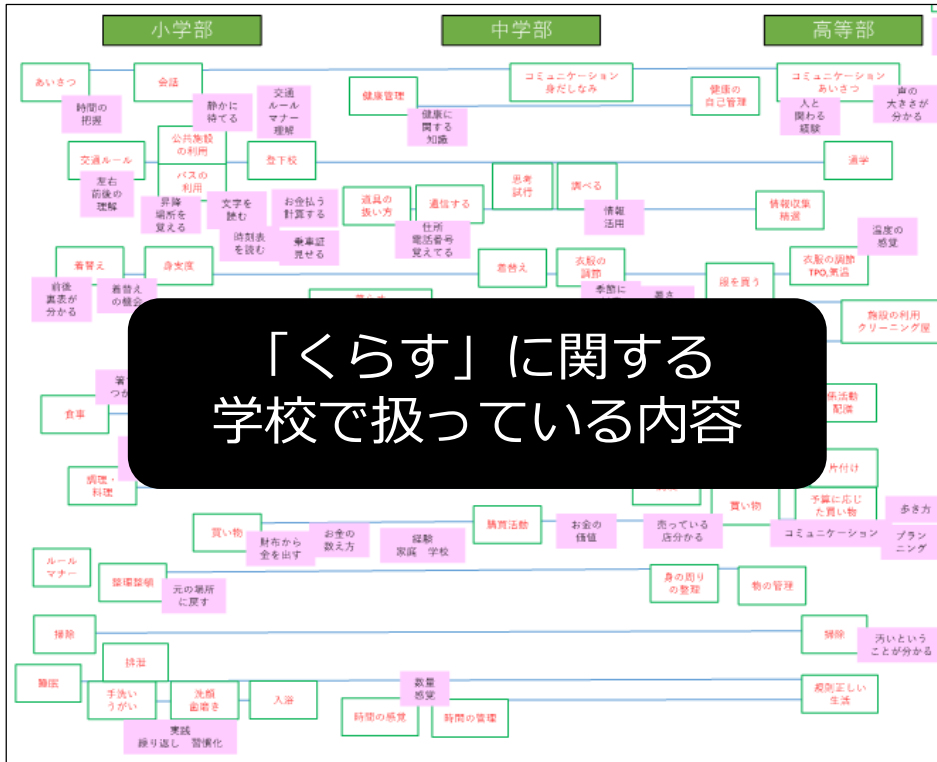


「くらす」WG 進捗状況



テーマ設定について



「くらす」に関わる内容は、幅広く多岐にわたる
⇒テーマを絞る必要性がある

テーマ設定について

研究協力者との打合せ

○秋田県特別支援教育課 管理主事 小山高志氏

生涯学習のキーワード

「人との出会い、つながり、関わり」

○障害者就業・生活支援センター長 牧野真悟氏

卒業生の支援の事例

通勤や駅前での行動、SNSの使い方、書類の手続きなど

自宅外の行動が多い。

○大仙市教育委員会 参事兼指導主事 櫻田武氏

「育てたい力」を基にした指導

授業のまとめから考えていく授業構想

テーマ設定について

「くらす」WG

- ・全児童生徒にあてはまる内容
- ・地域での行動に着目する
- ・つながりマップの内容と重なる

生涯学習

- 「人との出会い、つながり、関わり」
地域生活での
「出会い、つながり、関わり」
を充実させ、自分のくらしを
よくしていこうとすることが大切

「みんなが使える場所」の利用

生徒の学び

- ・Dスタディの授業
主眼：生活の中の問題発見、問題解決
- ・学校で習う⇒家庭生活でも利用する
家庭生活での利用は、限定的

教師の思い

- ・地域生活への興味・関心を広げたい
- ・地域との上手な関わり方を知ってほしい

実践① 「みんなが使える場所」について

図書館 博物館・美術館 市民サービスセンター

集会施設・コミュニティセンター 体育館・公園

ホール 宿泊施設 観光施設 交通機関

郵便局 病院 市役所 銀行 交番・派出所

娯楽施設 食品を買える場所 衣服を買える場所

実践② 生徒アンケートの実施

【対象：高等部生徒22名】

附属特別支援学校 高等部 「くらし」のアンケート

氏名 _____

I、みんなが使える場所（公共施設、商業施設）の使用状況について質問します。

①下に書かれているみんなが使える場所を知っていますか？合う方に○印をつけてください。

②「知っている」に○印をつけた人は、これまで学校の勉強以外（家庭生活等）で使ったことがある、利用したことがある人は、「使った」に○印をつけてください。

No.	みんなが使える場所の名前	①知っている？	②使った？
1	図書館（明徳館、新居図書館、土崎図書館等）	知らない・知っている	使った
2	博物館・美術館（千秋美術館、ねぶろ流し館、佐竹南館等）	知らない・知っている	使った
3	商業施設（秋田市民交流プラザ、土崎みなと会館等）	知らない・知っている	使った
4	コミュニティセンター（保野野地区コミュニティセンター等）	知らない・知っている	使った
5	市民サービスセンター（センターズ、いーぼる、なんびあ等）	知らない・知っている	使った
6	ホール（秋田市にぎわい交流館、秋田市文化会館等）	知らない・知っている	使った
7	体育館、公園（八幡健由広場、茨島体育館、一つ森公園等）	知らない・知っている	使った
8	観光施設（大森山動物園、セリオ、仁井田スーパー農園等）	知らない・知っている	使った
9	交通機関（鉄道の駅や電車、路線バス等）	知らない・知っている	使った
10	郵便局	知らない・知っている	使った
11	病院	知らない・知っている	使った
12	市役所	知らない・知っている	使った
13	映画館	知らない・知っている	使った
14	銀行	知らない・知っている	使った
14	食品を賣る場所（スーパー、コンビニ、マック、スタバ等）	知らない・知っている	使った
15	衣服を賣る場所（ロココロ、しまむら、オーバ、イオン等）	知らない・知っている	使った
16	その他（ ）	知らない・知っている	使った

③「使った」に○印をつけた人は、そこで何をしたら書きましょう。

- 例) 2：千秋美術館で絵を見た。
5：センターズでやっている調理教室に参加した。

II、今後の「くらし」の中で他にやってみたいことについて質問します。

下のの中から1番やってみたいことを○で囲んでください。2番目（その次）にやってみたいことを○で囲んでください。



内容

① 認知状況

② 利用状況

③ 利用希望

実践② 生徒アンケートの結果

①認知状況

- 図書館や体育館・公園は、どの学年でも高い値を示した。
- △市民サービスセンターや集会施設・コミュニティセンターは共通して低い値を示した。

②利用状況

- 交通機関や病院は高い値を示した。
- △市民サービスセンターは低い値を示した。
銀行も低い値であった。

- ・ 認知状況 > 利用状況
- ・ 市民サービスセンター等低い
- ・ 学年が上がるごとに認知、利用の両方で数値↑

実践② 生徒アンケートの結果

③利用を希望した理由

これまでは、家族が行っていたため、必要性がなかった。
(DVD借用、衣服購入等)

必要性

学校の学習や友達と一緒に経験したことがある。
今度は一人で行ってみたい
(カラオケ、バスケ等)

経験

友達や先輩と一緒に利用したい。
友達や先輩が利用してるのでしてみたい。
(食事、映画館等)

人との出会い

やりたいことはあるが、どこでやれるかわからない。
(体を動かす等)

情報

今後の実践事項

(1) 「みんなが使える場所」

⇒機能や用途を把握と整理

(2) 小、中、高等部段階での指導や育てたい力

⇒検討と提案

(3) 年間指導計画

⇒「みんなが使える場所」に関する観点での点検